

平成28年度 9会計の決算を認定

入	79億2240万円
出	73億9681万円
差引残額	5億2559万円

本会議3日目の9月15日、町長より平成28年度の一般会計及び8特別会計の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の審査報告が行われました。

一般会計は、歳入43億6480万円（前年度比1・6%増）に対し、歳出41億269万円（前年度比2・5%増）で、差引額は2億6211万円となり、特別委員会に付託されました。一方、8特別会計の総額は、歳入35億5761万円（前年度比1・9%減）に対し、歳出32億9413万円（前年度比5・4%減）で、差引額は2億6348万円となりました。

9月19日には、議員全員（議長はオプザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長・副町長・教育長以下、参事・課長から係長職の職員が出席して、詳細に審査が行われました。

ここでは、一般会計決算審査特別委員会の主な審査概要をご紹介しますが、このほかの議案等の審議結果は、6、7、9ページをご覧ください。



新松田駅北口駅前広場

【質】新松田駅周辺地域まちづくり基本構想策定委託は、平成28年度から30年度までとなっているが、今どいついつことをやっているのか。

【答】（まちづくり課）平成29年度は、駅周辺のイメージ図を何点か提示し、協議会で協議をしている。現在、バス乗場・タクシー乗場・広場・道路等の施設の配置・規模・面積等を検討し、基本構想を作成している。多くの方に整備についてのご意見を伺い、30年度に基本構想・計画を策定する。その後、実施設計をし、工事に着手したいと考えている。

一般会計予算の主な質疑

政策・方針関係

【質】町のふるさと寄附金は、平成27年・28年は7千万円台で推移しているが、良いことと思うが、全国的に見直しが進んでいる中、今後どうなるのか。

【答】（政策推進課）

国から今年度4月に通知があり、「町内で町民が自分の町に寄附する行

為は、本来趣旨が違つので改めるように、「返礼品の率も3割」と非常に厳しく定められ、秋を目途に見直しをする動きがある。

【質】ふるさと寄附金です

が、例えば、松田小学校を木造建設でやります。小学校の建設基金に使わ

せていただきますと、ホームページに掲載すれば、これに賛同する全国の方から寄附金が集まるのではと考えるがどうか。

【答】（政策推進課）

それは必要なことだと考えます。準備が整い次第、松田小学校建替えでやってみたいと思っています。

【質】寄一番地（湯の沢地区）の町有地の土地の活

用はどのようにするのか。

【答】（定住少子化担当室）この土地は、1・3haほどの土地です。地元からの要望や民間業者6者からの提案もあります。10月を目途に具体的に進めていきたいと考えています。

【質】町有財産評価の見直しは進んでいるのか。

【答】（総務課）

平成30年3月の公会計制度移行に向けて、減価償却を導入し、貸借対照表を作成する。

収支・財政関係

【質】町税が減っている中で、収入未済額が5千万円近くあるが、その解消にどのように対応されるのか。

【答】（税務課）

平成28年度の実績では、預貯金21件、不動産2件、生命保険1件、給与・年金5件など差押えをして534万円ほどの収入を得た。また、不動産の公売も今後進めていく。

【質】足柄上地区の地下水の保全関係負担金が4年くらいあるが、いつまで続くのか。

【答】（政策推進課）

平成19年度からスタートし20年間の大綱を定めている。県の水源環境保全の交付金を歳入している。国が森林環境税を創出した場合、県の水源環境税と重複するので、今後、注視していきたい。